

3回生 必修教科「外国語」授業のシラバス

教科名	外国語	科目名	英語3+英語コミュニ（35時間）	単位数	140	時間	
科目の目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。						
教科書	SUNSHINE ENGLISH COURSE 3（開隆堂出版）	副教材	中学必修テキスト 3年 新コメタン（アルク） e-learning				

1 学習の目標

- 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- 第1・2学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行うことができる。
- 海外の文化に興味を持つとともに、日本文化の良さを伝えたり、表現したりすることができる。
- 相手の言っていることを理解するだけでなく、自分の意見や感想を簡単に言うことができる。

【英語運用の4技能の目標】

聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。
話すこと [やりとり]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

2 学習の方法

- 授業について
 - 英語は言葉です。実際に使用できることを目指し、授業でたくさん使いましょう。
- 家庭での学習について
 - 復習に力を入れましょう。課題は忘れず、丁寧に取り組みましょう。
 - わからないところは積極的に教科担任の先生に質問しましょう。

3 評価について

- 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	「知識」については、別紙、「英語の特徴や決まりに関する事項」を理解しているかどうかを評価します。 「技能」については、使用する言語材料の提示がない状況においても、それらを用いて事実や自分の考えなどを話したり書いたりする技能が身に付いているかを評価します。
②思考・判断・表現	「話すこと〔やりとり〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝え合っている状況の評価します。 「聞くこと」、「読むこと」は、日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている状況の評価します。
③主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする状況の評価します。

- 評価の方法（以下観点①～③は「（1）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考査	単元 テスト	小 テスト	実技 実習	発言 発表	作品	レポ ート	ハ ート	ワー ク シート	討 議	コメ タン	スピー チ	ペア ワーク	外-ワ ーク
①知識・技能		○	○	○								○	○	○	○
②思考・判断・表現		○	○	○									○	○	○
③主体的に学習に取り組む態度													○	○	○

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の実や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さと健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ★L=聞くこと ★R=読むこと ★Si=話すこと（やり取り） ★Sp=話すこと（発表） ★W=書くこと

月	単元	学習内容	評価	考查	資質能力
4	辞書を使いこなそう	句動詞の引き方			CD
	<u>Bentos Are Interesting!</u>		R / Si / Sp		M
	対話：～に…するように頼む。 対話：…するのは～である。 説明文：感情の原因や具体内容を言う。	ask [tell / want] ～(人) to... / It is ～ (for+人) to... / 主語+be 動詞+形容詞+that ～.			
	家の中と外	家具、設備、衣服など	L / Si		CD
5	ディベートをしよう	ディベートの流れと意見の主張の仕方	Si		EF
	<u>Good Night, Sleep Tight.</u>		R / Si / Sp		K
	対話：どのように～するか知っている。 対話：何を～すべきか…に教える。 説明文：～だと…に教える。	主語+動詞+(人)+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that ～.			
	道案内をしよう②（電車の乗りかえ）	Could you tell me how to get to ～?	Si		EF
6	<u>A Hot Sport Today</u>		R / Si / Sp		M
	対話：～を…と呼ぶ。 説明文：～を…にする。 メール文：～を [に] …させる。	主語+動詞+目的語+補語（名詞 / 形容詞） / 主語+動詞+目的語+動詞の原形			
	メモのとり方を学ぼう	5W1Hを意識しながらメモをとる。	L / W		CD
	記者会見を開こう 記者会見	（これまでの復習）	Si / Sp / W	1学期 中間考查	CD
7	<u>Faithful Elephants</u>	Reading（復習）	R / W		J
	不良品を交換しよう	品物に不備があったので、交換を依頼する。	Si		EF
	<u>Sign Languages, Not Just Gestures!</u>		R / Si / Sp / W		EF
	対話：～している…。 対話：～された…。 対話：なし	分詞の後置修飾（現在分詞・過去分詞）			
9	ホームページで学校を紹介しよう	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書く。	W		CD
	かんたんな表現で言いかえよう	英語での言い方を知らないものを、自分が知っている単語で表現する。	Si		EF
	<u>The Story of Chocolate</u>		R / Si / Sp / W	1学期 期末考查	M
	対話：主格の関係代名詞 who 発表：主格の関係代名詞 which 発表：主格の関係代名詞 that	関係代名詞（主格）who / which / that			
10	わかりやすい文章を考えよう	つながりことば、構成を意識して文章を読む。	R / W		CD
	動詞の使い分け	look, see, watch / hear, listen	Si / W		CD
	<u>The Great Pacific Garbage Patch</u>		R / Si / Sp		BM
	説明文：目的格の関係代名詞 which 説明文：目的格の関係代名詞 that 説明文：目的格の関係代名詞の省略	関係代名詞（目的格）which / that / 省略			
11	ディスカッションをしよう	無人島に持っていくものを議論する。	Si		EF
	<u>あなたの町を世界にPRしよう</u>	（これまでの復習）	Si / Sp / W		L
	地元のものを外国の人にPR				
	非常時のアナウンスを聞こう	デパート火災で避難経路を聞き取る。	L	2学期 中間考查	CD
12	<u>Is AI a Friend or an Enemy?</u>		R / Si / Sp / W		BM
	対話：もしだれかが～だったら…。 説明文：もしだれかが～したら…。 説明文：～だったらよいのに。	仮定法過去 / I wish+主語+仮定法過去			
	<u>Malala's Voice for the Future</u>	Reading（復習）	R / W		J
	中学校の思い出を残そう	（これまでの復習）	Si / Sp / W		EF
1	オリンピック競技・パラリンピック競技	競技名	Si		LM
	<u>The Ig Nobel Prize</u>	Reading（復習）	R		M
	Library Lion	Reading（復習）	R	2学期 期末考查	CEF